夕刊
新京日日新聞

定價 一部 金三錢 一箇月 金八十錢 郵稅 一箇月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話二三〇〇番・三三二五番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本男
印刷人 谷啓二郎

セメント一袋に對し 十八錢宛課稅
土建界に大脅威を與へた 三種稅施行實施

滿洲國財政部に於ては既報の如く五月一日より吉林省に三種稅を施行することとなつた結果、從來無課稅品であつた新京國都建設に要する巨額なセメントに對し、官用品、一般商品たるを問はず一率に一袋(五十キロ入)國幣十八錢の課稅をなす事となり、新京のセメント消費量年額二百萬袋と觀て三十六萬圓に達する見込で土木建築の本舞臺を控へて土木界に大脅威を與へて居る

滿鐵鐵道收入 逐次增加の一途
劃期的活躍期待さる

滿洲國建國に伴ひ滿鐵の輸送及び鐵道收入は逐次增加の一路を辿つてゐるが本年三月滿洲國の國道經營委任による鐵路總局の開設によつて今後一段の發展飛躍を見るべく今後の劃期的活躍が刮目期待されてゐる、而して昨七年度の決算並に六年度との比較統計左の如し

△滿鐵社線及四洮昂、齊克、中東、吉敦線貨物輸送數量
七年度 一八、五三七、九九九瓲
(六年度 一五、三三六、一六五)
增加 三、二〇一、八三四

△鐵道總收入
七年度 一〇五、三八六、九三三圓
(六年度 八九、四七一、二二九)
增加 一五、九一五、七〇四

尙新京鐵道事務所管內社線及連絡他線の統計左の如し

△發送貨物
七年度 四、〇七九、四九九瓲
(六年度 四、〇〇三、三七一)
增加 七六、一二八

△到着貨物
七年度 二、三三〇、二六八瓲
(六年度 一、三七五、二五五)
增加 九五五、〇一三

△貨車收入
七年度 四三、一四九、二七四圓
(六年度 四一、二五一、四九六)
增加 一、八九七、七七八

△客車收入
七年度 三一、六二二、三〇五圓

北滿大豆の 現在高と前年比較

〔ハルビン廿二日發國通〕北滿に於ける特產物の出廻りは去る三月を以て終了し今後は松花江下流の大豆の出廻り期に入るが四月一日現在の大豆の動向を基礎として去る一九三〇年以來の出資數量を比較すると大要左の如くである

(單位一噸)
在貨
一九三三年鐵道沿線 二六三、一〇〇
同 松花江下流 二一〇、〇〇〇
同 奧地一帶 四四、六〇〇
一九三二年鐵道沿線 五〇八、三五〇
同 松花江下流 三七八、〇〇〇
同 奧地一帶 一八三、五四〇
一九三〇年鐵道沿線 六〇二、六〇〇
同 松花江下流 三一六、〇〇〇
同 奧地一帶 二六三、六八六

發送高
一九三三年度 一、〇四六、四四四
三二年度 一、四〇八、五一〇
三〇年度 一、一六四、七七四
三三年度總計 一、五八四、二三四
三一年度同 二、四七八、三〇〇
(單位一噸)
一九三〇年度 總計二、四九六、〇〇〇

と云ふ數字を示してゐる
即ち三三年度は約百五十八萬噸の輸出見込みであるが、右には前年度九月末の持越大豆が加算されてゐるこれを總計より差引く時は

三三年 一〇八、一一四 一、四三六、一四一
三二年 一六〇、〇〇〇 二、三一一、三〇〇
三一年 九六、三二七 二、三九九、八六六

が當年度に於ける正味發送さ在貨とする譯である、即ち三二年度は前年度に比較して實に約三割五分減で本年度の特產界の不振を雄辯に物語る譯である
尙四月に入り小麥の播種も開始され且つ一千萬圓の農耕資金も配分されたので、政府の救濟宣撫を得て前年度の三割五分減による農村の打擊は充分補顚される見込みである

手形交換所聯合會 席上に於ける 高橋藏相の演說

〔東京廿二日發國通〕全國手形交換所聯合會は昨日午後四時から東京集會所に開かれたが、高橋藏相は左の如き演說を爲した
景氣が恢復すれば租稅その他が今日以上に增加すべく增稅も出來やう、赤字公債は財政上嫌忌されるが戰時その他の非常時には已むを得ない、爲替下落は海外支拂は困難にする故放置出來ぬが、輸出を獎勵することになる、此の上の下落は惡影響を及ぼすからこれを防止する、時局策として低金利策を今一層徹底せしめねばならぬ、公債の如きも將來漸次低利に書換へる必要がある、公債發行高は十億を越へ通貨膨脹の可能性も增したが、オープンマーケット、オペレイションの弊害を防ぐ從來の經驗に依ると通貨が膨張して景氣が上向くと投機思惑が助長され泡沫會社を續出させるから事業會社には未拂込株式の制度を廢止して全額拂込濟みを認めるのが適當でないかと考へる

小磯參謀長等 拜謁を賜ふ

〔東京廿二日發國通〕天皇陛下は午前十時表御座所で參謀長會議に參列中の小磯參謀長等各參謀長林、渡邊、檢閱使天長節の南指揮官に拜謁を賜はつた

宋子文一行 橫濱寄港

〔橫濱二十二日發國通〕宋子文一行は今朝六時半ゼファソン號で入港したが、船室から一歩も出でず郞領事を通じ、日支問題はデリケートで何も言へぬと記者團に述べ午後一時出帆桑港に向つた

附屬地からの 無課稅煙草を取締る

滿洲國財政部では最近無課稅紙卷煙草が附屬地方面商人の手で盛んに國內に持込み販賣され、お膝元の新京城內諸官廳購入品にも無課稅品が大部分を占めて居る實狀に鑑み、一般商人に警告を發し脫稅品沒收及び罰金處分に出でることゝなつた

我等は回想す
聯盟脫退の經緯(一)

一 緒言

昭和六年九月十八日滿洲事變勃發以來、國際聯盟は事變に關與し、一年有半の長きに亙り審議討論を續けて來たが、結局何等圓滿妥當なる解決手段を發見するに至らず、帝國は遂に聯盟を脫退して彼等の覆考を促さざるに至つたのは聯盟の爲惜しまざるを得ない所である。

而して既往に於ける聯盟の所爲を通觀するに、認識不足なる空理空論に終始し、帝國正義の主張を容るるの明なく、支那側傳統政策の翻弄する所となり、益々彼をして增長せしめ、紛爭の解決を困難ならしめ、其權威を失墜し、過去に於て最も聯盟に忠實にして世界平和に貢獻し來りし帝國をして脫退の擧に出でしめし所以の者は、聯盟其物が正義人道に基づきて行動せざりしに依る所である。即ち輕卒に事件を取り扱ひ輕卒に批判し輕卒に判斷し、輕卒に結論を求め、而して輕卒に之が實現を策した。即ち聯盟構成國中本紛爭に當り事毎に反日行動に出でたる歐洲小國の如きは極東の問題に就ては何等理解なく、且無責任の輩であつて唯事件發生の外廓のみを見て之を歐洲の例に依てはめて裁斷し、他方以て自己擁護の資となさんとする等、極めて輕卒不純なる態度を以て本紛爭を議して居る。又歐洲の諸大國の大部分は、極東の事情に關し認識する所あるべきにも拘らず、帝國の行動が正々堂々たる自衛權の發動なることも、滿洲國の存立が東洋平和の根源なることも、總て目をかくし耳を覆ふて問題を解決せんとして居る。蓋し此等大國は、其歐洲に於ける外交政策上聯盟の力を弱むるを欲せざると共に、大國自身亦是等小國の支持を受けて辛くも現狀を維持しあるの狀態なるを以て、聯盟組織の信奉者たる小國の立場を無視し得ないからである。

斯くの如き不純不眞面なる動機のもとに、構成各國が日支の紛爭を論議しあるのみならず、聯盟の認識の不足なる、歐洲の現狀をもつて直に之を極東に擬し以て聯盟規約の適用を企圖して居る、即ち歐洲の如きは早くより近代文明の恵澤を受け、如何なる小國と雖國家の形態機構は近代國家としての體裁を具備して居り、大小多數の國家が密に其國境を接して居る。然るに極東に於ては、近代國家としての資格體裁を具備しあるは、僅に帝國あるに過ぎない。支那の如きに至つては、其眞政府が果して何れなるや不明であつて、彼のリットンすら其紛亂を認めて居る。即ち內には地方的主權割據し、而も治安は常に紊れて居る、之を前記歐洲の整然たるに比すれば天地霄壤もたゞならない。故に規約の適用に當りては、斯くの如き事態に對し十分なる認識を遂げ、現實に即せる適用を爲すべきであつて、帝國が規約適用に際して伸縮性を有せしむべきことを主張せるは實に此謂である然るに聯盟は此點に關して何等考慮せられたるあるを見ない。從つて極東の現情に合はない方法を以て其平和に資せんとするのであるから、到底其目的を遂せざるは無論のこと、惹いて紛爭を益々深刻ならしむるは理の當然であつて、聯盟を以て平和の攪亂者なりと謂はざるも實に茲に存する。帝國は過去一年有半に亙り、隱忍に隱忍持重を重ねて聯盟の啓蒙是正に努め來つたが、遂に其蒙を開かず、帝國の斷じて許容する能はざる勸告をつきつくるに至つた。事既に茲に至るに於ては帝國は最早忍[illegible]

怪人凱歌 (百九十八)
(講上演映畫化) 須藤鐘一 作　(畫) 濃秋方

醉眼 (九)

松根欣哉の眞心から溢した言葉は、お曾代の心にも嬉しく沁みわたるのを覺えた。
『ありがたうございます。今日の災難を救つていたゞきました丈けでも、わたしの爲めには命の恩人で居らつしやいます』
お曾代は、折から木下道にさしかゝつて、お互の顏がよく見えかねるのを幸ひ、恥しさをこらへ思ひ切つて聲に力をこめていふのだつた。
その日は無事に、めいめいの家にかへつた。が、斯うした花見の日に起つた偶然の出來事によつて二人の仲はスツカリ結ばれてしまつた。
以來、人目を忍んで相逢ふことを樂しむ二人であつた。町の裏手の宮の森、川一つ隔てた觀音寺の境內、吹雪野の傍の茶屋、そこに二人は逝く春の夕べを、又星更くる夏の夜を、甘い戀のさゝめきに醉ひしれるのであつた。
お曾代の家は町はづれの藥屋長屋だつた。もう年寄つて、碌に足腰のたゝなくなつた祖母と二人で彼女は暮らしてゐた。欣哉はこツそり其處へも訪ねて行つて、秘密の戀を樂しむのだつた。それが、いつしか人の噂にのぼるやうになつたのも是非がない。
所が、今度會社の職工の爭議が突發したので、二人の戀の掛橋もぷつりと中を斷ち切られたのであつた。欣哉は會社側の中心人物たる松根常務の伜。お曾代は職工側の花形。――個人としてはたゞ一日相見ないでも、痩せる思ひの戀人同士であるのに、浮世の義理が

に焦るゝ胸をいだいて悶々のうちに其の日其の日を過ごさねばならなかつた。……
工場の戸が開かないので、無聊に苦しむ人々は、寄るとさはると他人の陰口や噂ばなしでもして退屈さを紛らすより外はなかつた。
さうした彼等にとつて、欣哉とお曾代の戀愛事件は、實に持つて來いの好話題であらねばならなかつた。
自然、その物語りはあちこちでいろんな風に脚色され、又は尾ひれを加へられて、それからそれへと傳へられるのであつた。
その一說には、かねて欣哉はお曾代の美貌に打ちこみ、機會を狙つてゐたので、花見の時も實はこつそり彼女のあとをつけて行つたもので、若し村の若者の暴行がなかつたならば、欣哉が其の若者に代つて暴行を加へたかも知れない
など、岡燒半分の風評を立てるものさへあつた。
中には、又、古風な數へ唄を作つて、うたひ興ずるものもあつた。
○一つとせ、人も知りたる太野町の、
製油工場のお曾代さん。
○二つとせ、ふしぎな緣で結ばれた、
年は十九で花ざかり。
松根欣哉もよい男、
離れられぬも無理はない。
○三つとせ、身分ちがひも何の

政局漸やく安定

藏相萬一の場合も總辭職の必要なし

齋藤首相一色莊で時局を語る

〔葉山二十二日發國通〕齋藤首相は本日午後三時一色の別莊へ週末休養に到着したが、時局問題につき左の如く語る

米國の金輸出禁止から、英佛、米間に問題起り、我國でも印度政府等と問題が起つてゐる、經濟問題が世界の注意を惹くに至つて、戰債問題には我國は直接關係がないが、かゝる國際緊急の折、高橋藏相は是非必要だ、辭任問題も何とか早く解決したい、私から極力慰留してゐるが藏相が萬一病氣で止められても其のために内閣總辭職の必要はなく補充すればいゝ經濟會議豫備商議の訓令案は關係者で協議してゐるから近く決定する筈である

經濟會議對策 關係六省協議會

決定に至らず散會

〔東京廿二日發國通〕世界經濟會議に對する我が對策を決すべき第一回六省聯合會議は二十二日午前十時外務省に

【開會】され、石井、深井兩代表の外各次官、關係各局長等出席先づ有田次官より昨年ローザンヌの會議で世界經濟準備委員會が作製せる議題に對し我が政府の態度を決定すべく先般來關係各省で專門委員會を設定し、夫々對案研究せる處、今回略々其完了を得た、よつて今回各省聯合協議をなし最終的對策を決定したき積りである旨を述べ、審議に入り通貨及び信用對策物價資本移動の再開の三項に就いては富田理財局長の說明あり、次に貿易の制限、關稅並に條約政策、製產及び公益の三項に就いては來栖通商局長が說明し、委員會作製の對案を報告し、意見交換をしたが最後の決定を見るに至らず、零時半散會更に

【來る】廿六日午後及び五月二日午前の二回に亘り聯合會議を開き、最後案を決定する事となつた

關係各省で

經濟會議對策討議

〔東京二十二日發國通〕經濟會議に對する帝國政府の最終的對案を決定の爲二十二日午前十時より外務省で陸海軍を除く外務、大藏、農林、商工、遞信、拓務の六省聯合協議を開き、石井、深井兩代表始め政府側より有田外務次官の外關係各省の次官、局長集し、これ迄各省で練つた會議對策原案を報告審議を行つた

鮑滿洲國代表の光榮

〔東京廿二日發國通〕鮑觀澄氏は丁士源氏と入替り歸朝するが聖上陛下は本日山縣式部官を代表公署に御差遣になり、銀製花瓶一對を御下賜遊ばされた、鮑觀澄氏は二十四日宮城へ參內兩陛下に謁見仰付けらるゝ御沙汰あつた、尙同氏は二十四日午後九時東京驛發歸國することになつた

マツク首相とル大統領愈よ討議

盛澤山なプログラム

〔ワシントン廿一日發國通〕本日ワシントンに到着したマツク英國首相は今晚より、ル大統領と會見することになつたが、其討議の內容に關し米國の消息通間では左の如く觀測して居る

戰債問題政府は民主黨の政綱に基づき、戰債を放棄することは許されて居たが、戰債の支拂延期又は減額を行つてはならないと云ふことは、右政綱中に何等言及されて居ないから、ル大統領は此方面で交涉の餘地がある譯である

通貨問題世界貿易を恢復せしめるには國際的に通貨の安定を圖ることが根本的條件となつて居る、從つて米國は新らしい國際的通貨本位制度を確定し、各國貨幣を新幣貨に依つて安定せしめんとする運動には極力盡力する用意を有す

關稅問題米國政府は各國の關稅引下げを條件に米國の關稅[illegible]出來る限り互惠協定に依り關稅引下げ交涉を行ふ政策を執るものである

銀問題政府は國際的協定に依る銀價恢復策を討議することに贊成で若し各國が舉つて採用するなら米國も金銀複本位制採用を考慮するに吝でない

軍備縮少問題軍備縮少又は特に攻擊的軍備を全廢せんとする、合理的な運動には欣然參加するものである

日土條約滿期に就き外務省聲明發表

〔東京二十二日發國通〕外務省ではトルコとの通商條約暫定取定めを五月六日限り執行することゝなり二十二日官報で告示されるがこれで兩國間は無條約關係となるのではないかとの誤解を招く虞れある爲、二十一日外務省は同問題の眞相を左の如く發表した

昭和四年七月三十一日アンカラに於て日土兩國代表間に成立せる通商暫定取定めは、先般トルコ政府よりの通告に依り昭和八年五月六日以後執行せざることゝなつた次第は二十二日官報で告示の通りだが、右は嚢に兩國間に成立し正式通商條約の批准交換に就いて目下交涉進步中なる事及びトルコ國內法制上前記暫定取定めをその儘、明日たる五月六日以後迄に存續せしめ得ざることに依るもので、月六日迄に正式通商條約が效力を發生するに至らざる場合にも兩國通商關係が無條約關係とならぬ樣、兩國間に諒解成立の見込みである

奉露協定に拘束さるゝ要なし

東鐵問題と滿洲國の有力意見

對日抗議文提出によつて東鐵問題を複雜化し以て自己の立場をカムフラージユせんとソ聯政府が焦慮してゐる折柄目下の滿蘇問題に關し滿洲國內各方面の有力意見を綜合すれば次の如くである

滿洲國交通部の滿洲里に於ける直通封鎖の措置は蘇聯側が勝手に東鐵所屬の三千八百輛の貨車及び八十四輛のデカポツト機關車（一臺二十萬圓）を持出し

【東支】に莫大の損害を與へ、これに對し滿洲側が久しき以前より屢々爲した抗議若くは要求の如きは鼻であしらひ相手にせざるのみならずルデー管理局長等は滿洲側幹部を無視し、獨斷にて何等の聯絡協定なきザバイカル鐵道との不法なるトランジツトを締結し共同經營とは名のみにて事實上東鐵を自己所有の如く取扱ひ滿洲側を全然踏みつけ橫暴を極めてゐるに堪へ兼ね、この專斷行爲を中止せしめ且之以上東鐵財產の喪失を防止する上に何等かの實力行爲が絕對に

【必要】になつたからであつて蘇聯が宣傳する如く蘇聯をして東鐵を賣却するの止むなきに至らしむ等のこせついた魂膽に出でたものでは勿論ない尙蘇聯側及び巷間では滿洲國は當然に一九二四年の奉露協定に縛されてゐると云ふ前提の下に種々論議されてゐるやうであるが、滿洲國は日本以外の國と未だ條約關係を有せず、從つて法律上奉露協定に拘束さる理由はないのである蘇聯側が奉露協定を

【云々】せんとせばよろしく條約を締結して滿洲國をして奉露協定を守る樣約束せしむる外はないのである、併乍ら同協定は支那の弱味につけ込みデツチ上げた曖昧極まる協定であるから無修正で是を容認するが如きは滿洲國として到底出來難い所であらう、滿洲國は建國當時支那と他國との條約にして滿洲國に適用し得る限り是を尊重する旨宣言したが、滿洲國の發展と共に現實の事態に即せざる條約は之が改廢を主張せんとする樣である蘇聯は革命後諸外國に負ふ莫大な債務を一方的に廢棄したる後一九一九年及び二十年の兩度に亘り亞細亞民族の解放及び舊帝國ロシアにより支那に於て獲得した權益は拋棄する旨を宣言して支那民衆に

【隨喜】の涙をながさしたに拘らず、この宣言に基き出來た筈の一九二四年の露支及び奉露協定が、全然右宣言とはかけ離れたものとなり、殊に細目協定の成立を有耶無耶の中に葬りつゝ爾來十年間東鐵を吾がもの顔に振舞つて來た、これを見るとカラハン對支宣言はガロンボロジンを送つて今日支那中原の共產國の基礎を作る爲めに支那を欺く手段に過ぎずして權益放棄の如きは鬼の空念佛に等しいものであつた、蘇聯は東鐵を兵物視してゐるばかりでなく同時に蘇聯國內に於けるのと

【同樣】の共產制度を、その儘滿洲內に實行し來り、張學良すら北滿赤化の危險を感れて一九二九年東鐵紛爭を惹起した程である、今や滿洲國內部では日蘇間の親善を衷心より希ふ見地より、この種問題が蘇の反省により一日も早く解決せんことを望む聲が高くなつてゐる

一木前宮相に授爵

〔東京廿二日發國通〕長き遞りでは二十九日の天長節に前一木宮相に男爵を授爵されることに內定の模樣である

奈良大將男爵に內定

〔東京廿二日發國通〕來る廿九日の天長節には奈良大將にも男爵を授けられる事に內定した模樣である

四國協力條約案に小協商側反對

〔ベルグランド廿一日發國通〕ルーマニヤ外相チイチユレスコ氏は二十一日ユーゴースラビヤ外相、エブテイチ氏と會見ムツソリニー氏提案にかゝる四國協力條約案に關し種々懇談を遂げたが右に關しハシカル紙の報ずる處によれば席上チイチユレスコ氏は過般のロンドンに於ける英、佛政府當局との會談の結果を詳細報告し協議の結果四國協力條約案中に提唱されるヴエルサイユ條約の改訂は現下の歐洲政局を紛糾に導くのみならず其破局を招來するものであると意見一致し、右の結果四國協力條約案は小協商國側の反對により早くも流產の運命に置かるゝに至つたものと觀られてゐる

蔣介石北上の主なる原因！

南昌會議後突然北上の原因は色々取沙汰されてゐるが北平の何應欽排斥運動が俄然熾烈となり拾收すべからざる情況に陷つたので各方面からの要求に應じその解決の爲であるといはれてゐるなほこの排斥運動の糸を引いてゐるのは何と衝突して南下した楊杰である揚は蔣中正の命を受け學良の抗日軍指導の爲來津せるがこの一部軍隊を手に入れ逐次その勢力を得地盤を作る豫定であつた從つて何が北支軍事分會長就任を喜ばず、いはんやその下に參謀長たる事は最も欲せざる處なりし爲、自ら第十七軍團長となり古北口方面作戰を擔任したが、何の爲事每に防害され同方面の敗戰後上海に歸る、然るに蔣と揚の關係密接の爲蔣がこの時局を如何にさばくか頗る注目にあたいする向は各方面から反感を買つてゐる

天津を根據に要人の暗躍旺ん

〔天津二十二日發國通〕長城方面の支那軍の敗退と時局拾收の任に在る何應欽の無能により、今後の事態は如何に推移するか昨今の北平及び天津方面の人心は極度に動搖の徵あり、此間に暗躍する政客及び軍界の首領等は機關を天津に設けたものゝ如く、國民政府殊に蔣介石に對し批難の聲を舉げてゐるが昨夜大公報館の爆彈事件と云ひ今後又復實行的手段により市民を騷がす事もあらうかと極度に不安を感じてゐる

相田〇部隊

古北口前面で奮戰

初年兵勇壯に活動

〔古北口廿二日發國通〕廿一日拂曉より行はれた古北口正面敵陣地奪取は河原部隊の相田〇部隊によりて勇敢に攻擊正午終に之を占據したが、右敵陣地は敵によりても相當重要なる陣地にして其左翼陣地には標高一一五米に及ぶ三箇の望樓あり、附近一帶は依然として切立つ險阻なる山岳地帶にして交通は長城壁上のみを以て行はれる狀態で、右戰鬪中、相田部隊長は左肩に銃創を被つたが尙は屈せず最後の占據迄部下を指揮して三ケの望樓を占據したが、同日午後二時敵は重要なる右地點を奪還すべく、四五百の兵を以て逆襲し來りたるも、我軍は小部隊を以て之を擊退更に夜に入りて、敵は逆襲を續行し來り我軍の爲潰走せしめられて居るが、今朝我軍は同三案樓を據點として南天門の陣地に對し目下盛に攻擊中に

[illegible]に於ては、平津地方を衝かるやも計られずと目下頑强に抵抗して居るから、激戰となるものと見られて居る

同方面攻擊の相田部隊は最近前線に到着せる初年兵の大部分で、實に勇壯果敢な働きをして居る

[illegible]中部隊の損害

[illegible]一日古北口に於ける田中部隊の損害は左の通りである

鈴木中尉、外特務曹長二士官以下十名負傷者相田齊藤大尉、下士官以下數にして敵の損害は頗る大にして今なほ調査中である

有吉公使

二十二日神戸發

〔神戸二十二日發國通〕有吉公使は須磨、岡崎兩書記官を同伴し二十二日午前十一時神戸出帆の長崎丸で歸任の途に就いた

英國の蘇聯品禁輸に

蘇聯も報復的に英國品禁輸

〔モスクワ廿一日發國通〕英人技師逮捕事件に關聯して英國政府はソヴイエート商品の輸入禁止を實行したがソヴイエート聯邦でも報復的に英國品の輸入の禁止をなすことになり二十一日蘇聯外國貿易人民委員長ルーゼンゴルツ氏は對英通商關係に關して左の如き命令を發した

一、外國貿易業者は英國品を購入する爲英國に註文を發することを禁ず

二、英國旗を掲げたる商船の雇傭を禁す

尙ほ英國旗を掲ぐる商船に對し強高率の稅金附加を命じた

上海の滯貨

十三萬梱

〔天津二十二日發國通〕支那紡績聯合會は支那內地一般不安の爲め奧向き商賣皆無で上海には十三萬梱のストツクを生じたので、之が辭消手段として二十二日より一ケ月間一齊に停工することを決議した、日貨排斥は却て國內の不安を招き、加ふるに軍閥の爲め資本を搾取せられて此重要なる工業の方が押へ苅り取らるゝものと當業者は皆悲憤の淚に暮れてゐる

密雲爆擊を

支那僞傳單で逆宣傳

〔天津二十二日發國通〕日本軍が密雲附近の敵軍根據地に爆彈を投下した爲め支那側は極度に狼狽し乍らも直ちに之を以て逆宣傳に利用し、日本軍が撒布したる傳單には黃色人種聯盟を作り、白色人を全部東洋より驅逐すべしとありたりとて宣傳する爲め北平駐在外國人間には相當の衝動を與へた模樣だが、此種支那側の宣傳は曾ても屢々顧維鈞等によつて試みられたところで日軍の空爆を何等かの手段により緩和せん・苦心してゐた支那側の計畫的行爲でたまたま密雲爆擊を機會に日本側が撒布せる傳單なりとて虛僞の傳單を證據品の如く持ち廻るものと判明した

平津方面の避難民

續々濟南に入る

〔濟南二十二日發國通〕最近の前線に於ける支那軍の敗退の報に北支各地の人心は動搖して、二十一日以來は濟南附近に於ては平津地方よりの避難民及大官連の家族は隴海道等により相當多數來濟して居るが、右は青島を經由して上海方面へ避難する者或は濟南附近に引揚げた者で相當混雜してゐる

團體

▲郡馬縣敎育視察團二十二名二十三日午前六時四十分來京午前八時四十分ハルビンへ
▲大坂府會議員八名同上
▲福岡縣會議員十名吉林往復

人事往來

▲大津中佐（關東軍電話隊第〇〇隊）二十二日午後十時奉天へ
▲島野少佐同上
▲趙隆福氏（吉林省公署參議）二十二日午後四時來京
▲關口三等主計正（關東軍經理部附）二十二日午後四時三十分奉天へ
▲范與魁氏（吉林商務會長）二十二日午後四時三十分吉林へ
▲凌陞氏（興安北分省長）二十二日午後三時三十五分來京
▲吳元敏少將（吉林警備司令部參謀長）二十二日正午來京
▲マレ夫人（中東鐵路管理局副局長マ氏夫人）二十三日午後三時三十五分來京同四時三十分大連へ
▲張宗園氏（安東地區警備司令）二十二日東京ホテルへ
▲日下內務局長二十二日夜來京滿洲旅館へ投宿の豫定

外人の來滿者殖ゐる一方！
商人とジャーナリストがなんと云つても一位

滿洲國建國以來國都新京は世界の視聽を蒐め新京の一擧手一投足は直に『世界』の瞳目する處となつてゐる、從つてこの國家建設史に曾て見ない程迅速に國家的形態を整備しつゝある新京を視察すべく來京する者は日を逐ふて增加の一方であるが、中にも歐米人の來京者は非常な激增ぶりを見せ、一日五、六人は必ずビューローに尋ねて來る、これ等の者は靑島上海方面の切符を持つてゐる者が多い、これが爲正金銀行新京支店では最近めつきり旅行信用狀による金の融通や、兌換さ外國幣の兩替事務が每日二、三件あり行員を驚かせてゐる、來京者の人種別はやはり露國人が一番多く之に次いで米國人、英國人、佛國人、ドイツ人、の順で商人さジャーナリストが斷然多く其他は少數で漫然さ視察に來る者もある、一泊乃至二泊位で『離京』する者が大部分を占めてゐるがホテルが塞がつてゐる爲その日に歸る者もある

熱河省各縣等級並に縣長名

滿洲國は熱河平定に依り今や軍事工作より政治、經濟工作に移りつゝあるが、今各縣等級並に縣長名を調べて見ると左の如くである

（一）一等縣、朝陽、竇廷棟、赤峰、係廷鋼、平泉、賈如誼、凌源、張丹屛、阜新、李宗之、□魯、趙允修、經棚、范昌齡、林西、蘇錦泉、圍場、王耀中

（二）二等縣、隆化、段錦章、豐寧、陳彥裕、建平、田萬生、綏東、衣學謙

（三）三等縣、設治局、林東、蘇澤民、魯北、高志、天山、姚殿冥

省會、商埠及各縣安安警は左の如し

機關（民局以下全員數）

機關	人數
熱河省會公安局	三三〇
赤峯商埠公安局	一八五
承德縣　同	三五四
灤平縣	二六四
豐寧縣	一九〇
隆化縣	一九九
綏東	一二七
圍場	四一六
阜新	五二五
赤峯	四七三
朝陽	六九七
經棚	一八一
建平	三六三
林西	一三九
凌源	五九三
平泉	六三〇
開魯公安局	一九

追加訂正、一等縣、承德、竇廷棟、朝陽、國鐵錚

天長節觀兵式當日
聖上行幸遊さる

〔東京二十二日發國通〕天皇陛下には二十九日天長節觀兵式を行はせらるゝに就き、當日代々木練兵場に行幸あらせらるゝ旨二十二日仰出された、但し當日雨天又は强風、若くは式場泥濘の場合は行幸あらせられざる趣きである

特別市內の建築取締規則
新たに制定を急ぐ

新京特別市に於ける建築取締規則は既に市政公署より公布されてゐるが、その內容は未だ不充分のものであり、これが取締り徹底を缺く憾みがあるので、同市政公署では現在の規則に更に訂正を加へ、參議府の諮詢を仰いで、新たに敎會さして公布さるべく目下これが制定を急いでゐる、同規則の實施によれば各主要道路はいづれも二階建以上さし幅員その他、新築に際してそわぐ□限が加へられることゝなり、道路計畫さ相待つて現在の舊市內の面目が一新されることになるわけである

西本願寺で幼稚園開設

一、募集人員　約五十名
一、開始明日　五月一日午前十時入園式
一、申込期日　四月二十九日迄
一、申込場所　祝町西本願寺附屬　藤影幼稚園　電話三二一一番
園長　光照慈昭
保姆　竹下榮子　東京教育□婦學校卒業

中、書ヲ本園ニアリマスカラ申出デ下サイ、詳細ハ本園ニ問合セ下サイ

日曜講話

每日曜日午後一時半より　阿彌陀經連續講話　場所　西本願寺

傷痍軍人の職業修得
第一回卒業生成績優良

〔東京廿二日發國通〕負傷をした海軍々人の爲めに全國から集められた愛國救恤金の一部を割いて橫須賀、吳、佐世保、舞鶴、湊の各海軍病院にミシン裁縫師、時計修繕等の職業教育を施して來たが二十一日別府の海軍病院授產場で教育された五十七名の傷病兵が立派に職業修得し初の終了式が擧行されたが非常な好成績に海軍省も大喜び今後一層傷病軍人の爲め此の種の救護事業に努める事さなつた

共產黨シンパ平野帝大助教授判決

〔東京二十二日發國通〕共產黨シンパ元東京帝大平野助教授は本日地方裁判所で懲役二年一年の執行猶豫を判決された

野村吉司氏再び文藝界へ
わが新京が生んだ天才兒　近く後援會が生る

新京が生んだわが文藝界の大天才兒、野村吉司氏はさきに病臥に倒れ、醫師から文筆を禁ぜられ、氏の文藝的生活は惜しくも中斷されてゐたが最近健康恢復さゝもに捲土重來童話文學界に再生することゝなつたので、親友相計つて後援會を作り野村氏の新しい首途を助けて今後の事業を大成せしめることゝなつた、氏は新京室町小學校の出身あらゆる苦鬪を至て文藝の道に進み、中央公論その他大雜誌新聞等に作品を發表し、或はすぐれたる數冊の

著書によつて天下にその名を宣傳させられた人今度の後援會では特別會員一ヶ年金五十圓以上、普通會員十圓以上さなつてゐるか、特に氏の故鄕である新京人のお力添へを願ひたいさいつてゐる

遊蕩費に窮し
あたら青年の情死
安東丸山樓の出來事

〔安東發〕前途を暗く見過ぎた若者の情死事件……發つた二十日の午後、安東三番通り丸山樓で情死を企てた、男は長尾熙四郎（二四）と云ひ鷄冠山機關區員、女は丸山樓抱へ鈴丸事伊達鈴子（二二）で二人の關は去年の五月頃から結ばれてゐたさいふ、熙四郎は過般病を得て滿鐵安東醫院に入院し去る十三、四月頃退院しその儘自宅へ歸らず丸山樓に流連け二十日午後一時發の列車で歸るさて立出でたが間もなく引返して來た、そして二人は二階の女の部屋で遊んでゐたが二時十五分頃情死を企て鈴丸は右頸部を四センチ程斬られ全治二週間の傷、男は別の部屋で右頸動脈を長さ十二センチ、巾五センチを西洋剃刀で切り即死しゐるを發見大騷ぎとなり、急報により安東署より係官出張したが原因は遊蕩費に詰つた揚句と見られ、熙四郎の父親は朝鮮太田に居住してゐる

安東から

□昭和八年度の憲兵採用試驗は來る二十六日午前八時より安東憲兵分隊で行ふさ

□新義州居住の篤家車大道氏は十九日午後安東憲兵分隊を訪ひ陸軍學藝技術獎勵金さして二十圓の寄贈を申出たので同分隊では大いに厚意を謝し直ちに手續をさつた。

□安東高女では廿二日（土曜日）各々日別に義州白道（止州洞、麻田洞）方面へ往復約四里の遠足會を催す筈

安東各代表より出席すべき代表氏名は左の通り決定した

在鄕軍人會代表、大野幸作、中村直行之、山本重吉、小松國藏、高波須慶松、山下政忠
中學校代表、重本規一（敎論代表）生徒代表、荒畢規一（五年）甲賀純男（四年）矢野逢夫（三年）

□地委請長、商議會頭外客誘致委員、各區長は廿二日午後一時半より地方事務所會議室に參集、來る五月一日の安東デーの催し物に關し打合せ會を開催するさ。

□來る二十七日新京に於て開催される滿洲事變戰沒者の臨時慰靈祭に、

女學校代表、森谷仲藏（敎論）生徒代表福島スミ子（五年）大原妙子（三年）
青年訓練所代表、小池政吉、木道岩市
市民代表、高橋貞二、鹽本泰一、大津崚
婦人團体代表、古田スミ子
以上

妨ちやん嬢ちやんの遊園地が出來る
今年中に間に合はせやうと
市政公署で大童

新京特別市政公署では兒童の總意による體育運動の獎勵をはかるべく努力中だが、一方現在では兒童の遊び場所さて全然なくしかも冬半歲の間屋內に閉ぢ込められて、いざ開放期が來たさいつても此の現狀では兒童の『體育』上誠に面白からぬ結果を招來することになるので、目下頻りに兒童遊園地の設置を計畫し、その實現を急いでゐる、右計畫は各小學校を中心さして全市內に散在せしめなるべく多數を作り上げたいさいふので、目下當局では大體二十ヶ所位を豫定してゐるが、なほ土地を物色して出來得れば四十、五十でも設置しそれらには樹木を植え、砂山池などをつくつて危險なく子供達が自由に遊び得る設備をなすさゝもに衞生方面には特に注意して、月一回位は子供達のために健康『診斷』を行つて傳染病患者を發見し、これが豫防に努めるさいつた具合に特に兒童の體育衞生に關心を拂ふことになつてゐる、直ちに全市內に亘つて空地を物色し本年度中に全部を完成する豫定である

濱松機廿四日歸還

〔屛東二十二日發國通〕濱松機は二十四日午前三時出發歸還する筈

殉職航空兵は海軍葬

〔館山二十二日發國通〕殉職航空兵は二十三日午後海軍葬で執行されることになつた

空から奉天を見た芳澤さん
始めてだが愉快だと元氣

〔奉天廿二日發國通〕芳澤前外相は二十一日着奉後兵工廠を視察して、午後六時から航空會社春田氏の案內で旅客機に蜂田總領事中野副領事さ共に搭乘し、空から奉天、撫順を見物したが、生れて始めて飛行機に乘つたさ云ふ芳澤さんは案外元氣で、赤い夕陽が落ちる南滿の光景を見て全く美しいね、僕は一生の中でも飛行機さ海豚は一度試みて見たいさ思つたが、始めて滿洲で乘る機會を得たが、實に愉快であつた、今度は海豚だが如何なものかねさ仲々元氣な處を見せた

聖上
立川技術部行幸

〔東京二十二日發國通〕天皇陛下は既報の如く五月四日多摩御陵御參拜の上、陸軍航空本部立川技術部に行幸、親しく空軍の實狀をみそなはせられる事に御決定二十二日正式に仰せ出された

在北米の邦人
祖國愛に燃ゆる
一萬七千圓を陸海軍に獻金

〔東京二十二日發國通〕アメリカワシントン州さアイダホ州さアラスカさポートランド地方在留邦人千九百五十五名は祖國日本の非常時に際し一萬七千三百三十四圓を據出しシヤトル駐在內山領事の手を通じて二十二日陸海相に宛てて獻金し來つた

橫須賀赤化水兵に
檢察官の求刑通り判決確定す

〔東京廿二日發國通〕橫須賀における赤化水兵の軍法會議第三回公判は午後三時開廷、臨本判司長は檢察官の求刑通り言渡した

瀧川博士の刑法讀本
當局の忌諱に觸れ退職に決す

〔東京二十二日發國通〕帝大敎授法學博士瀧川幸辰氏の刑法讀本は、赤いさて議會開會中問題さなつたので、小西京大總長は二十二日午前十時半文部省を訪問、善後策を講じた

習志野學校を新設
軍事科學の教育と研究に

〔東京二十二日發國通〕陸軍では兵備改善の一事業さして二十二日陸軍習志野學校令を制定して是を公布した、新設される習志野學校は軍事に關する科學の教育並に調査研究を行ふ目的で八月一日開校される事になつた

ラヂオ

二十四日（月）
新京奉天後四、〇〇レコード錢行金銀相場商業通信社
新京後四、三〇演藝
新京後五、〇〇講演首都警察廳保安科長王賢澄
新京後五、三〇ニュース（滿洲語）
東京後六、〇〇ニュース東京中央放送局編輯
新京後六、二〇演藝（滿洲側）
新京後七、〇〇ニュース（英語）
新京後七、一〇ニュース（露西亞語）
新京後七、二〇ニュース（朝鮮語）
新京後七、三〇ニュース氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
新京後八、〇〇演藝
東京後八、三〇時報
東京後八、三一ニュース東京中央放送局編輯

慶帝戰雨で延期

〔東京廿二日發國通〕慶帝戰は雨天の爲、廿四日に延期された

吉黑省境附近の小匪討伐

〔ハルビン二十二日發國通〕十七日より開始された廣田部隊の五省匪討伐はヤブリより父他の一部は華沙河、石頭河子寒道河子、より分散し徹底的討伐を敢行したが、匪賊の根據地さなつていた爲め荒廢し目下住居して居るのは露人丈である、日本軍の掃匪中大火災を生じ折からの烈風にて目下延燒中

ハルビンに滿蒙師範學校開設

〔ハルビン廿二日發國通〕東鐵副管理局長伊里春氏を會長さする在ハルビン滿蒙同志協進會では滿蒙人の子弟教育の爲めハルビンに開校費四千二百元一ヶ年三萬二千八百元の費用を以て近く滿蒙師範學校を開設する事さなつたが校名は滿蒙同志協進會立師範專修科さ稱し一ヶ年卒業制度である

たが退學さ決定し、舊師敎授の膽を冷す

奈良で女給と情死
二科の木村氏

〔奈良二十二日發國通〕二科會新進畫家木村磐男氏は二十日奈良公園前大和旅館で元大阪道頓堀赤玉カフエー女給中川みわ子さ情死を遂げた

幕末異聞

愛慾火箭

瀧川駿 作
雷村瀬洗舟 畫

（三十六）

阿片窟（四）

からり晴つた空模様。今まで照り輝いてゐた日の光は、何處へやら。一天俄に掻き曇つて、見る〳〵内に、盆を覆へしたやうに篠衝く雨となつた。雷雨激しく、窓めに様に……を覺える程であつた。虚空……る稲妻は、たゞさへ薄暗い……の隅まで閃光を送つた。

『ひどい天氣になりまし……雨の濕氣を氣遣つて、利……軸を巻き納めると、……眺めて言つた。

その時、庫裡の方から……の納所坊主が、駈けつけ……あたふたと雨戸を閉てた……光りを奪られた部屋は……闇だつた。折しも風さへ加はつて、横殴の雨は、ひどく雨戸を叩いた。

納所坊主の運んだ、蠟燭の灯が鈍い光りを放つた。

それまで闇の中で、與四郎も利兵衛も形一つ崩さず控へてゐた。灯のつくのを待ちかねて、利兵衛が口を開いた。

『御門樣、折が悪い、又の機會まで、この話はお預かり申しませう』

斯う言はれると、與四郎としても、未練がましく訊く譯にも行かなかつた。

『では、さうせい。――代金は支拂つて置かう。如何程ぢや？』

『それも、いづれの時までお預かり申しまして、品物だけお受取り下さい』

『さうか、左様なれば次の時まで品物は、確と預かつた』

『では――』

『まあ待て、氣の早い、表は激しい暴風雨ぢや』

『長居は恐れ入ります。では』

與四郎のとめるのも聞かずに利兵衛は席を立つて、雨の中へ出て行つた。

後には與四郎一人、暗い蠟燭の灯に、坐つてゐた。

『物好きな 男も あるものだな』

「あ、はゝゝ」

朗かに、與四郎は笑つた。……が與四郎の胸の内には何とな……不安の念が、潮のやうに襲つ……

……郎は、それ以上立ち入られる事を怖れて、態と話をそらした。

『それはさうと、今宵、何時までに池田屋へ行けば良いのだ』

『遅くも六つ半までに、出張つて貰ひたいのぢや』

『して斬り込む人數は？』

『五人ぢや』

『だが、用意は良いのか。島田左近は、金に飽かして身を守る道具をオロシヤから買ひ込んだと聞いたぞ』

『うむ、そこだ。案じるより産むは易しで、急を襲へば何でもあるまい。あ、もう何時だらう』

獻吉は、斯う言つて彌八郎を振り見た。井上は懐手したまゝ、立木のやうに默つてゐた。

『おい井上、小降りになつたやうだ、出掛けやう』

獻吉が、先頭に立つて部屋を出て行つた。

二人の歸つて行つた後、與四郎は起ち上つて、雨戸を押開けた。

外には鈍い午後の太陽に、新緑の葉末から滴る雫が、寶石のやうに光つてゐた。

與四郎は、四邊の人影を窺つて、先刻利兵衛の置いて行つた軸を靜かに開いて見た。

●八白の人　時明を失はざる様勇氣を鼓して進み利あり　丙さ丁さ癸が吉
●九紫の人　交際を圓滿に且つ金錢出入ㇾ誤無き様注意　丁さ庚さ壬が吉